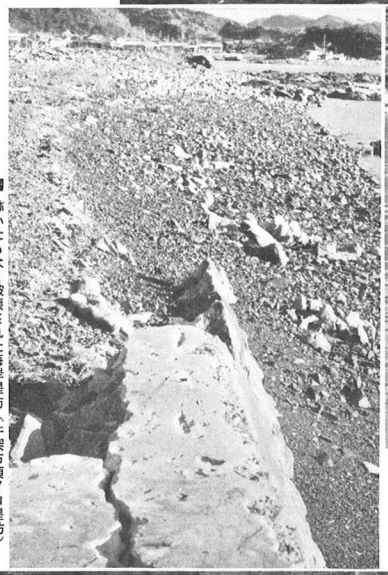
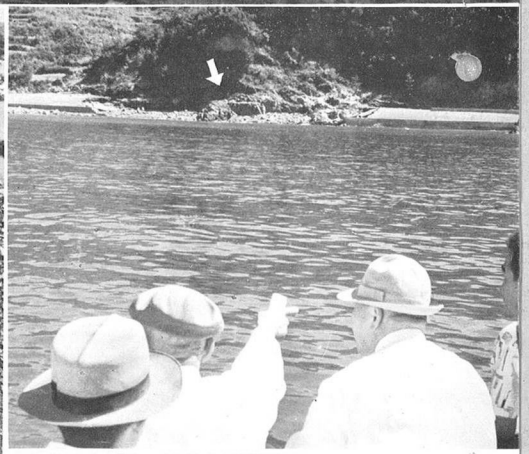
台風十四号 猛威をふるう

■ 高潮襲う二江海岸（天草郡五和町）



■ 跡かたもなく破壊された海岸堤防（牛深市須ノ口堤防）



■ 寸断された海沿いの県道（天草郡河浦町）

■ 軍ケ浦の惨状（天草郡天草町）

去る九月十六日夜半より九州西方海上に接近した台風十四号は、十七日早朝から昼頃にかけて、熊本県全域を暴風雨圏内につつみ、瞬間最大風速三〇・二米の猛威をふるつた。

特に、天草、有明沿岸は満潮時と重なり、近来まれな高潮のため、各地に甚大な被害をあたえ、その被害総額は実に二十七日現在で十九億八千四百三十八万三千円の多額にのぼつた。

県 では、九月十六日夜半暴風雨警報の発令とともに、「県災害情報連絡本部」を設けて、すでに活動を開始していた県水防本部及び、県災害救助隊本部並びに、県警本部、自衛隊等関係機関と緊密な連絡をとるとともに、情報収集、警戒、救助等、緊張のうちに台風の進路を案じつゝ、その準備体制を整えた。

九 月十七日、台風の通過によつて天草西海岸地方に甚大な被害が生じたので、県は早速実情を調査し、災害の把握に努めるとともに、特に災害のいちじるしい牛深市、苓北町、天草町、五和町の一市三町に対しては、災害救助法を発動し、早速、衣類、生活必需品、学用品等約一万二千点、金額にして約三百万円相当の救助物資を海上保安部の巡視船によつて急送した。又一方、この重大な事態に対処するため、十八日午前九時、知事を本部長とする「県災害対策本部」を設置して、さきに設置した水防本部、災害救助隊本部、災害情報連絡本部の機能を吸収総括して、災害救助、実情調査、復旧対策等の総合対策にあたつた。

ま ずず、九月十八日早朝、知事代理として民生労働部長を天草に急行させるとともに、各部から二名あて（十八名）の調査員を派遣した。更に九月県会招集日の十九日午後には、寺本知事県会議員団も現地に急行して、生々しい各地の被害の跡を廻り、被災者を慰め激励するとともに、その応急対策に奔走した。

ついで、県では、災害復旧のための予算措置の準備に緊急とりかかるとともに知事は二十四日急きよ上京し、政府に復旧対策に対する助成の折衝を行つた。

九 月二十五日までの被害及びその対策は大体以上の様な状況であるが、台風十四号によつてうけた被害は予想以上に大きく、被災者の方々には心から慰さめの言葉を送りたい。

なおその復旧対策について県、被災地元民一体となつての努力はもとより、県民すべての協力が必要であり、義捐金その他による救済についても、切にお願いしたい。

台風十四号の被害状況

総額 十九億八千四百三十八万三千円

―内 訳―

民生関係	一億二八、六九〇千円
土木関係	三億七八、二六五千円
耕地関係	九〇、二〇〇千円
開拓関係	二、五〇五千円
農作物関係	八億 五、三〇九千円
林業関係	二四、二七四千円
蚕糸関係	三六、六四三千円
畜産関係	七五千円
水産関係	三億一二、七三九千円
商工鉱業関係	一億九一、四〇九千円
教育関係	一〇、〇九四千円
衛生関係	四、一八〇千円

（広報課）

秋の有明海…

観光・輸送は航送船で

台風時は欠航で大変ご迷惑をおかけしました

有明海自動車航送船組合

（玉名郡長洲町 TEL 長洲159）

みんなのしあわせのために赤い羽根

今年の目標額 二千五百万円でその内訳は、一般募金が二千万円、歳末たすけあい寄付金が五百万円となつている。一般募金は、昨年の一千八百万円に対して二百万円の増額。

これは中央の国民たすけあい共同募金運動要綱による「倍加運動のねらい」を本県の実情にあうようにしたもの。

一挙に倍加できるものではないので少しづつ目標に近づくように、本年度は、二千万円を一般募金である法人や地域の募金によることに共同募金会評議員会で決定された。

去年の成績 約千七百四〇万円。この中約千四百七〇万円が配分され約二百七〇万円が一般会計に繰入れられている。

去年の主な配分先 各受配施設、団体の申請に基いて、次のように配分された。

- 乳児院、母子寮、養護施設など児童の収容施設二六ヵ所。
- 保育所七九ヵ所。
- 養老院授産施設など一四ヵ所。
- 市郡町村社会福祉協議会など社会福祉事業指導連絡団体一二八ヵ所
- この外社会福祉事業養成事業費などに配分されている。（社会課）